

離島で初の大学設置となる公民連携事業を支援

～「宝塚医療大学観光学部 宮古島キャンパス学生寮」建設に対し沖縄銀行と協調融資を実行～

沖縄公庫は、株式会社宮古島キャンパス学生寮（以下：当社、代表者：上田 真一）に対し、沖縄銀行と協調して、合計9億5,000万円の融資を実行しました。

【事業の概要】

宝塚医療大学（兵庫県宝塚市）を運営する学校法人平成医療学園（大阪府大阪市）が、宮古島市の旧城辺中学校跡地を活用して同大学の観光学部を新設するにあたり、当社がその敷地内に学生の生活基盤となる学生寮を建設し、学校法人へ一括賃貸するものです。

【当社について】

当社の親会社で、埼玉県で不動産事業を展開する「株式会社北斗不動産ホールディングス」の創業者である上田福三氏は、宮古島市城辺福里出身で、若者の教育に役立ててほしいと同市へ多額のふるさと納税を行うなど、故郷の人材育成に尽力されております。今回の学生寮建設もご子息で後継者の上田真一氏とともに、その一環として行うものです。

【事業の評価】

本事業は、宮古島市の公共財産である学校跡地を民間事業者が活用する公民連携（PPP※）事業に位置づけられます。本事業により公共財産の有効活用が図られることに加え、県内離島で初となる大学の設置によって就学機会の創出や若年人口の増加に寄与するなど、離島地域の課題解決や地域振興への貢献が期待されます。

沖縄公庫は国の施策に基づく政策金融機関として、多岐にわたる融資制度や蓄積された金融ノウハウ等を活用し、県内自治体とも連携を強化しながら、地域活性化に繋がる事業を今後も積極的に支援してまいります。

※PPP（Public Private Partnership）とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等について行政と民間が連携し、民間の創意工夫等を活用することにより、公共財産の有効活用や行政の効率化等を図ることをいいます。PPPには指定管理者制度や包括的民間委託、PFI（Private Finance Initiative）などの様々な手法があり、地域の諸課題を解決する手段のひとつとして、全国各地の実情にあわせた多様なPPP事業が検討・実施されています。

(写 真) 宝塚医療大学観光学部 宮古島キャンパス学生寮



(参 考)

| 沖縄振興開発金融公庫の PPP・PFI 関連融資制度（産業開発資金：沖縄自立型経済発展）概要 | |
|--|---|
| 資 金 使 途 | 地方公共団体等の事業・資産を譲り受け又は地方公共団体等の資産の貸付け等を受け、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して効率的かつ効果的に実施される事業に必要な資金 |
| 融 資 限 度 額 | 所要資金の 7 割 |
| 融 資 期 間 | 30 年以内 |

※沖縄自立型経済発展は上記以外の資金使途でもご利用いただけます。詳しくは窓口までお問い合わせください。

本件に該当する SDGs



【問合せ先】

沖縄公庫 融資第一部 地域振興班（担当：知念）TEL 098（941）1961
 業務統括部 業務企画課（担当：永山）TEL 098（941）1740